

4領域の内2領域に偏りのある類型

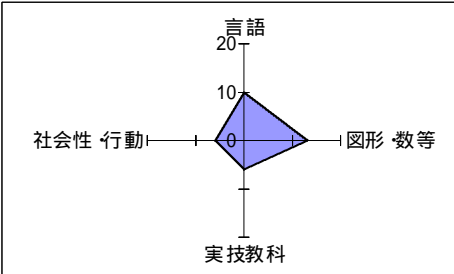
- 他と比べて《言語、図形・数等》に困難が多い -

<例> 中学1年生 女子

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
23	1	2

(2) プロフィール



言語と図形・数等に偏りが見られるタイプです。この生徒は不登校状態である上に、広範な発達の遅れも否定できません。

不登校状態にあることが教科学習の遅れにつながっているとと言えますし、発達の遅れが教科学習のつまずきの背景にあり、不登校になっているかもしれません。

生育歴を見直したり、教育相談等を通して、興味や関心のもてるものを詳しく探ったりして、何かに「自己有能感」をもてるよう支援していく必要があると考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い 指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い 聞いたことがなかなか記憶できない 相手の話を聞いていないことが多い 話合いについていけないことがしばしばある
	話す	会話がやりとりにならず、一方的に話す 特定の音が不明瞭である 助詞の誤りが目立つ話し方をする 的確なことを見つけられなかったり、詰まったりすることが多い 話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す
	読む	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える 一字一字は読めるが、たどりに読めなかったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い 行をとばしたり、語を付け加えたりして読む 基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む 文章の内容を把握できない
	書く	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う 促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない 「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない 漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、アルファベットの文字に混同がある ある程度まとまりのある文章が書けない
図形・数等の力	図形	三角定規・コンパスなどの器具を用いて、図形(円、多角形、平行四辺形など)を作図する 図形の合同、対称に関する理解する 基本的な立体の特徴を理解する 円周率の意味を理解し、計算に用いる ～の上に(下に)、～の右に(左に)、～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる
	数	乗法九九を暗唱し、整数の乗法・除法の計算をする 約数・倍数を理解する 小数の乗法・除法計算をする 分数の乗法・除法計算をする 2位数×(または÷)1位数の暗算をする 多操作計算問題を解く(例 12×3-45÷9) 一つの数を他の数の積や商としてみるなど、他の数と関係づける(例 3×4が12であることは分かるのに、12は3と何の積であるかわからない) 百分率を用いた計算をする 変化する数量間の関係を表やグラフで表す 文章題を読んで立式する(加法・減法・乗法・除法)
	日常生活の数字に関する力等	電話番号(市内局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する 時間概念を表すことば(一週間前・同後、一昨日・明後日、一昨年・再来年、より早い、より遅いなど)の意味が分かる 日常生活に必要な程度の、おおよその長さや重さや容積の推測をする ～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間の経過や順序や比較の表現のことばを用いる 数学の用語・記号・求積の公式を用いる

実技教科	音楽	リコーダー等旋律楽器で学年相当の曲を演奏する リズムを伴って打楽器を演奏する 曲想や気持ちを表現をしながら歌をうたう 他のパートとの協調を意識して合唱する 集中して鑑賞する
	美術	はさみやカッターナイフを使い、直線や曲線に沿って紙を切る 紙の端を揃えて折ったり、畳んだり、物を包んだりする 手指、掌等を十分働かせて、粘土などで造形する 彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う 見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す
	体育	ラジオ体操等、徒手体操 リレー等の走の運動 幅跳び、高跳び、反復横跳び等の跳の運動 マット、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動 縄跳び ボールの操作(投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等) スキップ動作 模倣の運動 表現運動 ゲーム(バスケット、バレー、サッカー等)
	社会性・人間関係	席にじっと座ってられないことが目立つ おしゃべりが非常に多い 雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい 学習活動への取り掛かりが遅い 黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い ぼーっとしている時がしばしば見られる 他の生徒にちょっかいを出すことがとても多い 授業と関係ないことに没頭することがしばしばある 質問に対して的外れな答えが多い 手悪さをしばしばする 相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い 他の生徒へのタッチが強すぎたり、トラブルやけんかが極端に多い 教師の声掛けや働きかけに対して、過敏であったり攻撃的な反応をしめしたりすることが多い(逆に、答えようとしなかったり、消極的反応が多い) 話題が偏っていたり、その場の流れに合わない応答が多い 独りでいることが多く、友達と口をきくことも少ない 忘れ物が非常に多い
生活習慣	他の生徒よりワントンボ遅れる行動が多い 机やロッカーの中がとても乱雑で、物をなくすことや、壊してしまうことが多い 身だしなみに極めて無頓着である 偏食、過食、少食などが著しい	

4領域の内2領域に偏りのある類型

- 他と比べて《図形・数等、実技教科》に困難が多い -

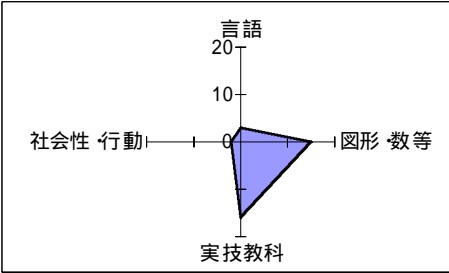
<例> 中学3年生 男子

人数	8	学年別	小4	小5	小6	中1	中2	中3
				1	1			6

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
0	14	1

(2) プロフィール



図形・数等と実技教科の困難さをあわせ持ったタイプです。2領域の偏りでは、このタイプの児童生徒が最も多く、8名中6名が中学3年生です。このタイプでは、概して登校しぶりが目立ちますが、社会性・行動について抽出の基準ほど多くはないが、いくつかの指摘が見られる児童生徒は、欠席日数が多くなっています。

教育相談等を活用しながら、コミュニケーション能力を糸口にして、苦手でない教科学習に「自己有能感」がもてるよう支援していくことが必要と考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い	音楽	リコーダー等旋律楽器で学年相当の曲を演奏する
		指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い		リズムを伴って打楽器を演奏する
		聞いたことがなかなか記憶できない		曲想や気持ちを表現をしながら歌をうたう
		相手の話を聞いていないことが多い		他のパートとの協調を意識して合唱する
		話合いについていけないことがしばしばある		集中して鑑賞する
	話す	話がやりとりにならず、一方的に話す	美術	はさみやカッターナイフを使い、直線や曲線に沿って紙を切る
		特定の音が不明瞭である		紙の端を揃えて折ったり、畳んだり、物を包んだりする
		助詞の誤りが目立つ話し方をする		手指、掌等を十分働かせて、粘土などで造形する
		的確なことを見つけられなかったり、詰まったりすることが多い		彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う
		話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す		見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す
読む	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える	体育	ラジオ体操等、徒手体操	
	一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い		リレー等の走の運動	
	行をとばしたり、語を付け加えたりして読む		幅跳び、高跳び、反復横跳び等の跳の運動	
	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む		マット、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動	
	文章の内容を把握できない		縄跳び	
書く	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う	社会性・人間関係	ボールの操作（投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等）	
	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない		スキップ動作	
	「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない		模倣の運動	
	漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、アルファベットの文字に混同がある		表現運動	
	ある程度のとまりのある文章が書けない		ゲーム（バスケット、バレー、サッカー等）	
図形・数等の力	図形	三角定規・コンパスなどの器具を用いて、図形（円、多角形、平行四辺形など）を作図する	授業態度	席にじっと座ってられないことが目立つ
		図形の合同、対称に関して理解する		おしゃべりが非常に多い
		基本的な立体の特徴を理解する		雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい
		円周率の意味を理解し、計算に用いる		学習活動への取り掛かりが遅い
		～の上に(下に)、～の右に(左に)、～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる		黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い
	数	乗法九九を暗唱し、整数の乗法・除法の計算をする	生活習慣	ぼーっとしている時がしばしば見られる
		約数・倍数を理解する		他の生徒にちょっかいを出すことがとても多い
		小数の乗法・除法計算をする		授業と関係ないことに没頭することがしばしばある
		分数の乗法・除法計算をする		質問に対して的外れな答えが多い
		2位数×(または÷)1位数の暗算をする		手悪さをしばしばする
日常生活の数に関する力等	多操作計算問題を解く(例 $12 \times 3 - 45 \div 9$)	人間関係	相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い	
	一つの数を他の数の積や商としてみるなど、他の数と関係づける(例 3×4 が12であることは分かるのに、12は3と何の積であるかがわからない)		他の生徒へのタッチが強すぎたり、トラブルやけんかが極端に多い	
	百分率を用いた計算をする		教師の声掛けや働きかけに対して、過敏であったり攻撃的な反応をしめしたりすることが多い(逆に、答えようとしなかったり、消極的の反応が多い)	
	時間概念を表すことば(一週間前・同後、一昨日・明後日、一昨年・再来年、より早い、より遅いなど)の意味が分かる		他の生徒よりワンテンが遅れる行動が多い	
	日常生活に必要な程度の、おおよその長さや重さや容積の推測をする		机やロッカーの中がとても乱雑で、物をなくすことや、壊してしまうことが多い	
～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間の経過や順序や比較の表現のためのことばを用いる	身だしなみに極めて無頓着である			
数学の用語・記号・求積の公式を用いる	偏食、過食、少食などが著しい			

4領域の内2領域に偏りのある類型

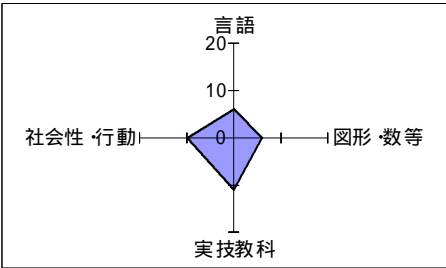
- 他と比べて《実技教科、社会性・行動》に困難が多い -

<例> 中学1年生 女子

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
21	0	3

(2) プロフィール



人数	1	学年別	小4	小5	小6	中1	中2	中3
						1		

実技教科と社会性・行動に偏りを示すタイプです。この生徒は、広範な発達の遅れもうかがえます。

この生徒は、体をバランスよくスムーズに動かすことにつまづきがあるようです。不登校状態のため、実技における適切な課題設定や配慮にも難しさがあります。「成就感」や「自己有能感」がもてるように教育相談等で他領域における興味や関心を知り、支援していくことが大切です。それと並行して、対人関係を改善していくことも必要です。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い	実技教科	音楽	リコーダー等旋律楽器で学年相当の曲を演奏する
		指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い			リズムを伴って打楽器を演奏する
		聞いたことがなかなか記憶できない			曲想や気持ちを表現をしながら歌をうたう
		相手の話を聞いていないことが多い			他のパートとの協調を意識して合唱する
		話合いについていけないことがしばしばある			集中して鑑賞する
	話す	話がやりとりにならず、一方的に話す		美術	はさみやカッターナイフを使い、直線や曲線に沿って紙を切る
		特定の音が不明瞭である			紙の端を揃えて折ったり、畳んだり、物を包んだりする
		助詞の誤りが目立つ話し方をする			手指、掌等を十分働かせて、粘土などで造形する
		的確なことを見つけられなかったり、詰まったりすることが多い			彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う
		話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す			見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す
読む	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える	体育	ラジオ体操等、徒手体操		
	一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い		リレー等の走の運動		
	行をとばしたり、語を付け加えたりして読む		幅跳び、高跳び、反復横跳び等の跳の運動		
	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む		マット、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動		
	文章の内容を把握できない		縄跳び		
書く	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う	社会性・行動	ボールの操作（投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等）		
	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない		スキップ動作		
	「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない		模倣の運動		
	漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、アロファベットの文字に混同がある		表現運動		
	ある程度のとまりのある文章が書けない		ゲーム（バスケット、バレー、サッカー等）		
図形・数等の力	図形	三角定規・コンパスなどの器具を用いて、図形（円、多角形、平行四辺形など）を作図する	授業態度	席にじっと座ってられないことが目立つ	
		図形の合同、対称に関して理解する		おしゃべりが非常に多い	
		基本的な立体の特徴を理解する		雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい	
		円周率の意味を理解し、計算に用いる		学習活動への取り掛かりが遅い	
		～の上に(下に)、～の右に(左に)、～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる		黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い	
	数	乗法九九を暗唱し、整数の乗法・除法の計算をする		人間関係	ぼーっとしている時がしばしば見られる
		約数・倍数を理解する			他の生徒にちょっかいを出すことがとても多い
		小数の乗法・除法計算をする			授業と関係ないことに没頭することがしばしばある
		分数の乗法・除法計算をする			質問に対して的外れな答えが多い
		2位数×(または÷)1位数の暗算をする			手悪さをしばしばする
日常生活に関する力等	多操作計算問題を解く(例 12×3 - 45÷9)	生活習慣	相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い		
	一つの数を他の数の積や商としてみるなど、他の数と関係づける(例 3×4が12であることは分かるのに、12は3と何の積であるかがわからない)		他の生徒へのタッチが強すぎたり、トラブルやけんかが極端に多い		
	百分率を用いた計算をする		教師の声掛けや働きかけに対して、過敏であったり攻撃的な反応をしめたりすることが多い(逆に、答えようとしなかったり、消極的反応が多い)		
	変化する数量間の関係を表やグラフで表す		話題が偏っていたり、その場の流れに合わない応答が多い		
	文章題を読んで立式する(加法・減法・乗法・除法)		独りであることが多く、友達と口をきくことも少ない		
電話番号(市内局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する			忘れ物が非常に多い		
時間概念を表すことば(一週間前・同後、一昨日・明後日、一昨年・再来年、より早い、より遅いなど)の意味が分かる			他の生徒よりワンテンが遅れる行動が多い		
日常生活に必要な程度の、おおよその長さや重さや容積の推測をする			机やロッカーの中がとても乱雑で、物をなくすことや、壊してしまうことが多い		
～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間の経過や順序や比較の表現のためことばを用いる			身だしなみに極めて無頓着である		
数学の用語・記号・求積の公式を用いる			偏食、過食、少食などが著しい		

4領域の内2領域に偏りのある類型

- 他と比べて《社会性・行動、言語》に困難が多い -

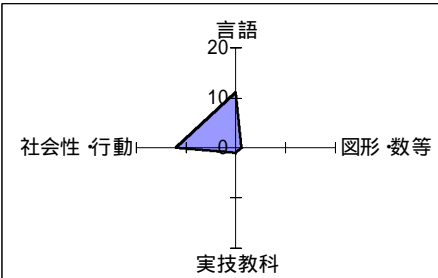
<例> 小学5年生 男子

人数	2	学年別	小4	小5	小6	中1	中2	中3
				1		1		

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
22	3	0

(2) プロフィール



言語と社会性・行動に偏りが見られるタイプです。この2名は、言語領域でも「聞く」能力の弱さが目立ちます。そのためか、2名とも対人関係よりも、授業場面における項目に指摘が多く見られます。この児童生徒には、「聞く」ことへの具体的な援助を行っていくためにも、教育相談等の活用が望まれます。また、その中で、意欲をもって取り組める実技領域を探りながら、並行して、そこで「自己有能感」がもてるよう支援していくことも必要だと考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い	実技教科	音楽	鍵盤ハーモニカ、リコーダー等で学年相当の曲を演奏する	
		指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い			鍵盤楽器を演奏する	
		聞いたことがなかなか記憶できない			リズムを伴った打楽器の演奏ができる	
		相手の話を聞いていないことが多い			身体表現をしながら歌をうたう	
		話し合いについていけないことがしばしばある			他のパートとの協調を意識して合唱する	
	話す	会話がやりとりにならず、一方的に話す		図工	はさみを使い、直線や曲線に沿って紙を切る	
		特定の音が不明瞭である			折り紙の端を揃えて折る	
		助詞の誤りが目立つ話し方をする			手指、掌等を十分働かせて、粘土で立体を作る	
		的確なことばを見つけれなかったり、詰まったりすることが多い			彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う	
		話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す			見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す	
読む	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み間違える	体育	ラジオ体操等、徒手体操			
	一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い		かけっこ、リレー等の走の運動			
	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む文章の内容を把握できない		幅跳び、ゴム跳び、反復横跳び等の跳の運動			
	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う		登り棒、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動			
	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない		縄跳び			
図形・数等の力	書く	「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない	社会性・行動	人間関係	ボールの操作(投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等)	
		漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、鏡文字を書くことがある			スキップ動作	
		ある程度まとまりのある文章が書けない			模倣の運動	
		図形			基本的な図形を用いて、作図や図形の構成をする	表現運動
					図形(二等辺三角形、正三角形など)の特徴をつかむ	ゲーム(鬼ごっこ、ドッジボール、ポートボール等)
	円や球について、中心・直径及び半径を知る			授業態度	席にじっと座っていられないことが目立つ	
	コンパスを用いて円を描く				おしゃべりが非常に多い	
	~の上に(下に)~の右に(左に)~の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる				雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい	
	2位数同士の加法・減法計算を30秒程度の時間内でする	新しいもの、難しそうなものだと「分からない、出来ない」と言って、学習や活動への取り掛かりが遅い				
	くり上がりくり下がり忘れず、4位数までの加法・減法の筆算をする	黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い				
数	多操作計算問題を解く(例 $8 \times 2 - 5 \times 3$)	生活習慣	ぼーっとしている時間が多くみられる			
	万の単位について知り、それらの数の大小や順序を理解する		他児にちょっかいを出すことがとても多い			
	乗法九九を暗唱し、2位数×3位数で、正しい位取りで筆算をする		教師の注意をひこうとする振る舞いが多い			
	2または3位数÷1位数で、正しい位取りで筆算をする		質問に対して的外れな答えをすることが多い			
	10倍、100倍、10分の1などの大きさの数及びその表し方が分かる		手悪さをしばしばする			
日常生活の数に関する力等	簡単な小数、分数の意味を理解し、加法・減法の計算をする	人間関係	相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い			
	棒グラフの読み方及び書き方を理解する		他児へのタッチが強すぎたり、けんかが極端に多い			
	文章題を読んで、立式する(加法・減法・乗法)		いつも独りでいて、友達と口をきくことはめったにない			
	電話番号(市外局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する		教師の問いかけに対して黙っていて答えようとしにくい			
	時間概念を表すことば(きのう・今日・あした、去年・今年・来年、より早い・より遅いなど)の意味が分かる		教師からの働きかけに対して口ごたえが多い			
日常生活に必要な程度の時刻や時間を計算によって求める	忘れ物が非常に多い	生活習慣	遅刻が多い			
~から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間、順序の基準になることばの意味が分かる	机の中、ロッカーの中がとても乱雑である					
「重さ」「面積」の単位が分かり、測定をする	偏食、過食、少食などが著しい	物をよくなくしたり、壊したりする				

4領域の内2領域に偏りのある類型

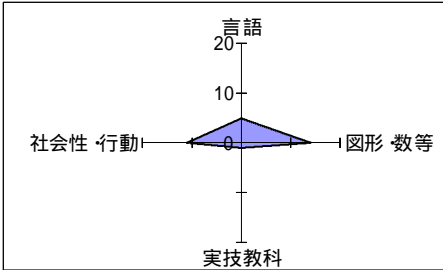
- 他と比べて《図形・数等、社会性・行動》に困難が多い -

<例> 中学3年生 男子

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
0	88	0

(2) プロフィール



図形・数等と社会性・行動に偏りを示すタイプです。このタイプの2名は、ともに中学生で、欠席日数よりも遅刻が目立ちます。このタイプは、教科学習における困難が、授業場面での不適応を進行させ、不登校につながっていくことも危惧されます。

教育相談等を生かし、「成就感」や「自己有能感」をもてるように、苦手ではない実技教科を中心に関心や興味もてるものを知り、それを支援していく中で、学校への適応を促していく必要があると考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い	音楽	リコーダー等旋律楽器で学年相当の曲を演奏する
		指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い		リズムを伴って打楽器を演奏する
		聞いたことがなかなか記憶できない		曲想や気持ちを表現をしながら歌をうたう
		相手の話を聞いていないことが多い		他のパートとの協調を意識して合唱する
		話合いについていけないことがしばしばある		集中して鑑賞する
	話す	会話がやりとりにならず、一方的に話す	美術	はさみやカッターナイフを使い、直線や曲線に沿って紙を切る
		特定の音が不明瞭である		紙の端を揃えて折ったり、畳んだり、物を包んだりする
		助詞の誤りが目立つ話し方をする		手指、掌等を十分働かせて、粘土などで造形する
		的確なことを見つけられなかったり、詰まったりすることが多い		彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う
		話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す		見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す
読む	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える	体育	ラジオ体操等、徒手体操	
	一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い		リレー等の走の運動	
	行をとばしたり、語を付け加えたりして読む		幅跳び、高跳び、反復横跳び等の跳の運動	
	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む		マット、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動	
	文章の内容を把握できない		縄跳び	
書く	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う	社会性・行動	ボールの操作（投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等）	
	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない		スキップ動作	
	「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない		模倣の運動	
	漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、ア行アベットの文字に混同がある		表現運動	
	ある程度のとまりのある文章が書けない		ゲーム（バスケット、バレー、サッカー等）	
図形・数等の力	図形	三角定規・コンパスなどの器具を用いて、図形（円、多角形、平行四辺形など）を作図する	授業態度	席にじっと座ってられないことが目立つ
		図形の合同、対称に関して理解する		おしゃべりが非常に多い
		基本的な立体の特徴を理解する		雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい
		円周率の意味を理解し、計算に用いる		学習活動への取り掛かりが遅い
		～の上に(下に)、～の右に(左に)、～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる		黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い
	数	乗法九九を暗唱し、整数の乗法・除法の計算をする	人間関係	ぼーっとしている時がしばしば見られる
		約数・倍数を理解する		他の生徒にちょっかいを出すことがとても多い
		小数の乗法・除法計算をする		授業と関係ないことに没頭することがしばしばある
		分数の乗法・除法計算をする		質問に対して的外れな答えが多い
		2位数×(または÷)1位数の暗算をする		手悪さをしばしばする
日常生活に関する力等	多操作計算問題を解く(例 12×3-45÷9)	生活習慣	相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い	
	一つの数を他の数の積や商としてみるなど、他の数と関係づける(例 3×4が12であることは分かるのに、12は3と何の積であるかがわからない)		他の生徒へのタッチが強すぎたり、トラブルやけんかが極端に多い	
	百分率を用いた計算をする		教師の声掛けや働きかけに対して、過敏であったり攻撃的な反応をしめしたりすることが多い(逆に、答えようとしなかったり、消極的反応が多い)	
	変化する数量間の関係を表やグラフで表す		話題が偏っていたり、その場の流れに合わない応答が多い	
	文章題を読んで立式する(加法・減法・乗法・除法)		独りでいることが多く、友達と口をきくことも少ない	
電話番号(市内局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する	忘れ物が非常に多い			
時間概念を表すことば(一週間前・同後、一昨日・明後日、一昨年・再来年、より早い、より遅いなど)の意味が分かる	他の生徒よりワンテンが遅れる行動が多い			
日常生活に必要な程度の、おおよその長さや重さや容積の推測をする	机やロッカーの中がとても乱雑で、物をなくすことや、壊してしまうことが多い			
～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間の経過や順序や比較の表現のためことばを用いる	身だしなみに極めて無頓着である			
数学の用語・記号・求積の公式を用いる	偏食、過食、少食などが著しい			